



アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ (年2回決算型) (愛称: GGO)

追加型投信／内外／株式

第49期 (決算日2023年 1月20日)

作成対象期間 (2022年 7月21日～2023年 1月20日)

第49期末 (2023年 1月20日)	
基準価額	26,229円
純資産総額	19,064百万円
第49期	
騰落率	△ 3.3%
分配金 (税込み) 合計	0円

(注) 騰落率は分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切り捨てて表示しております。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ (年2回決算型)」は、このたび第49期の決算を行いました。

当ファンドは、マザーファンドを通じて、主として日本を含む世界各国の株式に分散投資し、成長の可能性が高いと判断されるセクターにおいて、環境や社会志向等の持続可能な成長が見込まれるサステナブル投資テーマに基づき、魅力的な銘柄に投資するアクティブ運用を行います。当期についても、これに沿った運用を行いました。

ここに、当期の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

アライアンス・バーンスタイン株式会社

〒100-0011 東京都千代田区内幸町二丁目1番6号 日比谷パークフロント

お問合せ先 **お客様窓口**

電話番号 **03-5962-9687** (受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

ホームページアドレス <https://www.alliancebernstein.co.jp>

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。書面での交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

○当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、アライアンス・バーンスタイン株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

<「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法>

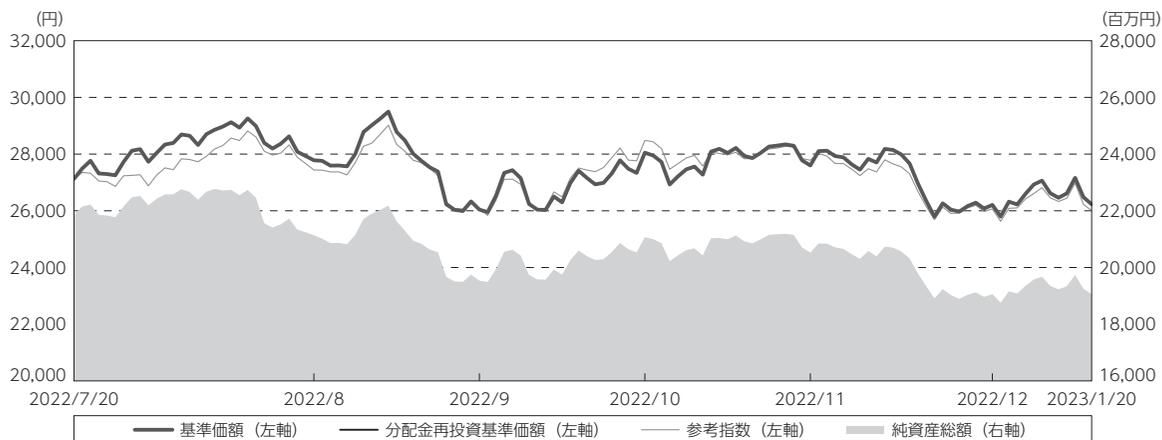
上記ホームページアドレスにアクセス → 「基準価額一覧(国内投資信託)」を選択 → 「株式型」の表内の当ファンド名を選択 → 「運用報告書(全体版)」のリンクを選択

運用経過

アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ（年2回決算型）（以下「当ファンド」ということがあります。）の運用状況をご報告いたします。

期中の基準価額等の推移

（2022年7月21日～2023年1月20日）



期首：27,124円

期末：26,229円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：△ 3.3%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 上記騰落率は、小数第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首（2022年7月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
 (注) 参考指数は、MSCIワールド・インデックス（配当金込み、円ベース）です。詳細はP4をご参照ください。

○基準価額等の推移

基準価額（分配金（税込み）再投資）は、前期末比で下落しました。世界の株式市場の動きを表すMSCIワールド・インデックス（配当金込み、円ベース）との比較では、同インデックスを上回るパフォーマンスとなりました。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因：

- ・金融関連の保有銘柄の価格上昇

下落要因：

- ・ヘルスケア関連や情報技術関連などの保有銘柄の価格下落
- ・円高米ドル安となったこと

1万口当たりの費用明細

(2022年7月21日～2023年1月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	235	0.860	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(114)	(0.416)	委託した資金の運用、基準価額の算出、法定書類作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(114)	(0.416)	購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(8)	(0.028)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	4	0.014	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	(4)	(0.014)	売買委託手数料は、組入金融商品等の売買の際に売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	5	0.018	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	(5)	(0.018)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	5	0.018	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.005)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.000)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(3)	(0.013)	その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	249	0.910	
期中の平均基準価額は、27,300円です。			

(注) 期中の費用（消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
 (注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。

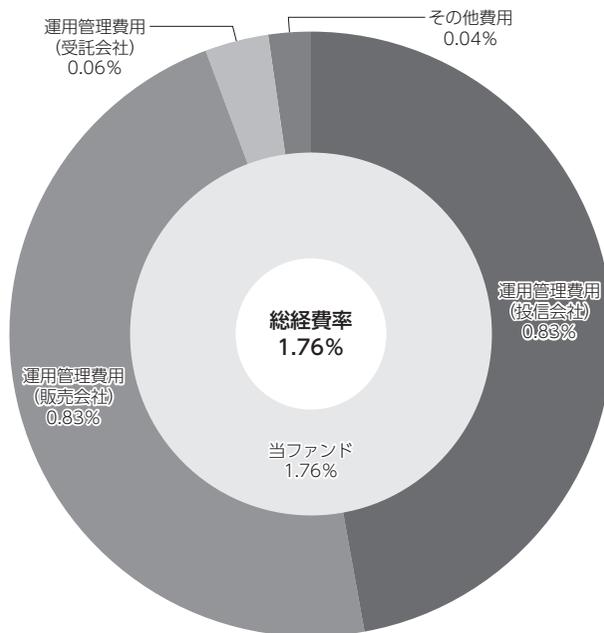
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.76%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2018年1月31日～2023年1月20日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2018年1月31日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2018年1月31日 決算日	2019年1月31日 決算日	2020年1月31日 決算日	2021年2月1日 決算日	2022年1月20日 決算日	2023年1月20日 決算日
基準価額 (円)	16,345	14,908	18,237	23,715	28,127	26,229
期間分配金合計(税込み) (円)	-	0	170	90	100	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	△ 8.8	23.5	30.6	19.0	△ 6.7
参考指数騰落率 (%)	-	△ 7.3	20.4	9.4	28.9	△ 0.8
純資産総額 (百万円)	753	657	696	2,045	21,527	19,064

- (注) 上記騰落率は、小数第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) 純資産総額の単位未満は切り捨てて表示しております。
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
 (注) 参考指数は、MSCIワールド・インデックス（配当金込み、円ベース）です。

●参考指数に関して

○MSCIワールド・インデックス（配当金込み、円ベース）

MSCIワールド・インデックスは、世界の先進国の株式市場のパフォーマンスを測る指数で、各国の株式時価総額等をベースに算出されたものです。MSCIワールド・インデックス（配当金込み、円ベース）は、MSCIワールド・インデックス（配当金込み、米ドルベース）をもとに、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を用いて委託会社が円換算したものです。

当資料で使用している指数等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属します。

投資環境

（2022年7月21日～2023年1月20日）

【株式市場】

世界の株式市場は、前期末比で上昇しました（米ドルベース）。

期初から2022年8月半ばにかけては、米国の過度な利上げ観測の後退などから上昇しましたが、8月後半には米国長期金利の上昇が嫌気され軟調に転じました。10月後半から12月初めにかけては、堅調な欧米企業の決算のほか、米国の利上げペース減速への期待からおおむね堅調に推移しました。その後12月末にかけては、市場予想を上回る米国経済指標を背景に、米国の金融引締めが長期化するとの見方から景気後退懸念が広がり、株式市場は再び軟調に転じました。期末にかけては、米国における景気減速の兆候やインフレ鈍化を示す経済指標を受け、利上げ減速期待が高まったことや、ゼロコロナ政策終了による中国経済の回復期待から、上昇しました。

【為替市場】

前期末比で円高米ドル安となりました。

米ドル円レートは、期初は円高米ドル安で始まりましたが、その後10月中旬にかけては日米金利差の拡大を背景に、おおむね円安米ドル高基調で推移しました。10月下旬以降は、米国国債金利の低下に加え、日本銀行（日銀）が長期金利の許容変動幅の拡大を発表したことが市場では事実上の利上げと受け止められたことから、円高米ドル安が進行しました。

当ファンドのポートフォリオ

（2022年7月21日～2023年1月20日）

<当ファンド>

当ファンドは、アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド（以下「マザーファンド」ということがあります。）受益証券への投資を通じて、主として成長の可能性が高いと判断されるセクターにおいて、環境や社会志向等の持続可能な成長が見込まれるサステナブル投資テーマに基づき、日本を含む世界各国の株式に分散投資することにより、信託財産の成長を目指します。実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

当ファンドは、引き続きほぼ全額をマザーファンド受益証券に投資しました。

<マザーファンド>

主として日本を含む世界各国の株式に分散投資し、成長の可能性が高いと判断されるセクターにおいて、環境や社会志向等の持続可能な成長が見込まれるサステナブル投資テーマに基づき、魅力的な銘柄に投資するアクティブ運用を行います。

運用にあたっては、グラスルーツ(草の根)リサーチに基づき、高い利益成長もしくは持続的な利益成長の可能性が高いと判断される企業に対する投資を継続して行いました。

その結果、セクター配分においては、生活必需品セクターや情報技術セクターなどの組入比率が上昇しました。一方、資本財・サービス・セクターやヘルスケア・セクターなどの組入比率が低下しました。国別配分においては、イギリスやインドなどの組入比率が上昇しました。一方、アメリカやオランダなどの組入比率は低下しました。

<マザーファンドのセクター別組入比率>

前期末 (2022年7月20日現在)

セクター名	比率
情報技術	28.0%
資本財・サービス	20.5%
ヘルスケア	18.5%
金融	16.2%
一般消費財・サービス	4.8%
その他	6.5%
現金等	5.4%



当期末 (2023年1月20日現在)

セクター名	比率
情報技術	30.5%
ヘルスケア	17.1%
金融	16.8%
資本財・サービス	15.1%
生活必需品	5.5%
その他	11.3%
現金等	3.8%

<マザーファンドの国別組入比率>

前期末 (2022年7月20日現在)

国名	比率
アメリカ	59.5%
オランダ	6.1%
ドイツ	4.1%
デンマーク	3.6%
スイス	3.5%
その他	17.8%
現金等	5.4%



当期末 (2023年1月20日現在)

国名	比率
アメリカ	56.9%
イギリス	5.1%
オランダ	5.1%
インド	4.9%
ドイツ	3.6%
その他	20.7%
現金等	3.8%

(注) セクター配分は、MSCI/S&PのGlobal Industry Classification Standard (GICS) の分類で区分しています。
 国別配分は、発行体の国籍や事業基盤等を考慮して区分しています。

個別銘柄では、クレジットカード決済サービス会社のVISAや、世界的なソフトウェアおよびクラウドサービス会社のマイクロソフトなどを買い増しました。一方、EMS(電子機器受託生産サービス)大手のフレックスや、廃棄物管理環境サービス分野でのアメリカ最大手企業のウエスト・マネジメントなどを一部売却しました。

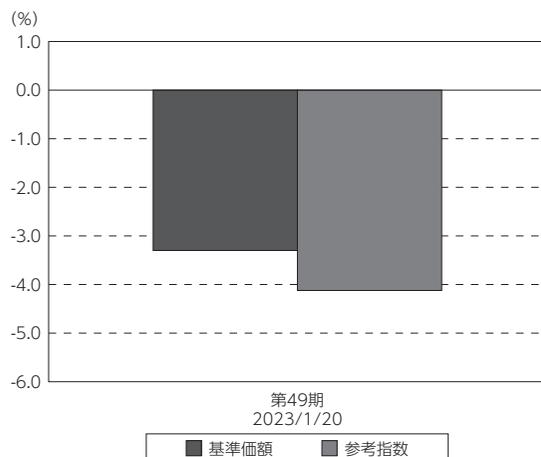
株式の組入比率は、期を通じて高い水準を維持しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2022年7月21日～2023年1月20日)

当ファンドは、特定の指数を上回ることを目指す運用を行っていないため、ベンチマークを設けておりません。右のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、MSCIワールド・インデックス（配当金込み、円ベース）です。詳細はP4をご参照ください。

分配金

（2022年7月21日～2023年1月20日）

当期の収益分配については、配当等収益に基づき、基準価額水準、市場動向等を勘案し、見送ることとしました。なお、収益分配に充てなかった利益については、信託財産内に留保し「運用の基本方針」に基づいて運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第49期
	2022年7月21日～ 2023年1月20日
当期分配金	－
（対基準価額比率）	－%
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	18,005

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の当期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数以下切り捨てで算出しているため合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

（注）上記表は、経費控除後の数値です。

今後の運用方針

<当ファンド>

引き続き、マザーファンド受益証券にほぼ全額投資する方針です。

<マザーファンド>

主要中央銀行の金融引締めを背景に経済成長は鈍化しており、ベースシナリオでは2023年以降、業績がマイナスに修正される頻度が高くなると予想しています。このような局面では、負債比率が低く、強固なバランスシートを有する質の高い企業が、マクロ経済的な要因に左右されにくく、一般的に優れたパフォーマンスを示します。マザーファンドでは、質が高いという特性に加えて持続的な成長を実現する企業に注目していますが、足元は、市場の変動が高まり、株式への圧力が高まる場合に備えて、質の高さを優先しています。「気候」、「健康」、「エンパワーメント」という投資テーマに基づいてマザーファンドで重視するのは、気候変動の緩和、ヘルスケアへのアクセス、インフラの必要性などの世界の難題に対する解決策を提供できる企業を見出すことです。世界経済の流れが大きく変化するのには何年もかかり、これらの問題は一夜にして解決できるものではありません。増大する難題に対する解決策を提供できる企業の製品やサービスは、より堅調な需要を維持するとみられ、持続的な利益成長につながると考えられます。こうした企業は、利益を拡大することが難しい局面においては特に魅力が増す可能性があります。

引き続き、「気候」、「健康」、「エンパワーメント」の投資テーマに基づき、魅力的と判断する銘柄に投資することで、信託財産の長期的な成長を目指します。

※将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更される場合があります。

お知らせ

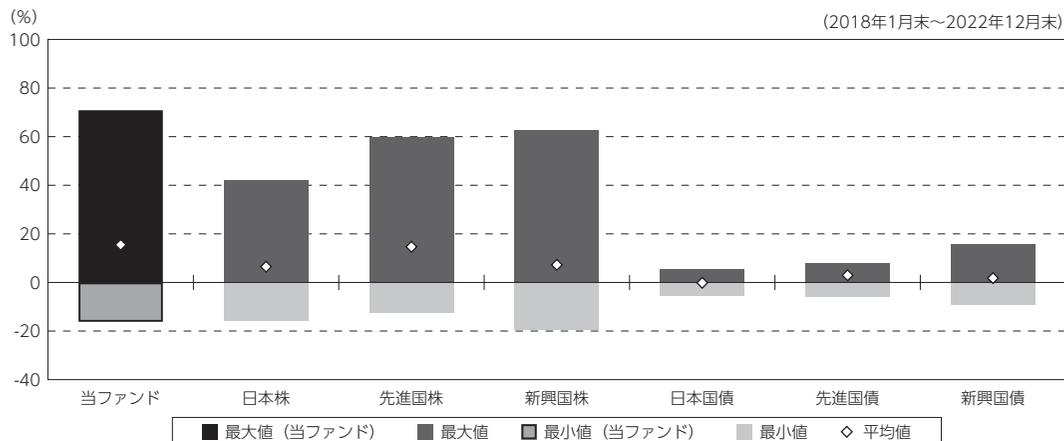
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	無期限。ただし、信託約款所定の事由が生じた時は、信託契約を解約し、信託を終了（償還）することがあります。	
運用方針	アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド受益証券への投資を通じて、信託財産の成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。	
主要投資対象	アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ(年2回決算型)	アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド	世界各国の株式（日本株を含みます）を主要投資対象とします。
運用方法	<p>①マザーファンドを通じて、主として日本を含む世界各国の株式に分散投資します。</p> <p>②成長の可能性が高いと判断されるセクターにおいて、環境や社会志向等の持続可能な成長が見込まれるサステナブル投資テーマに基づき、魅力的な銘柄に投資するアクティブ運用を行います。</p> <p>③マザーファンドの運用は、アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーに委託します。</p> <p>④実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>⑤ファミリーファンド方式で運用を行います。</p>	
分配方針	<p>(1) 毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額は、経費控除後の利子・配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②分配金額は、委託者が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配を行わない場合もあります。</p> <p>(2) 留保益の運用については、特に制限を設けず、「基本方針」および「運用方針」に基づき元本と同一の運用を行います。</p>	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	70.9	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	15.7
最小値	△ 16.2	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 9.4
平均値	15.5	6.5	14.7	7.3	△ 0.1	2.9	1.8

(注) 上記グラフは、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて、2018年1月～2022年12月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大・最小・平均を表示し、定量的に比較できるように作成したものです。なお、すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
 (注) 当ファンドの年間騰落率は分配金再投資基準価額に基づき計算した騰落率ですので、実際の基準価額に基づき計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

《各資産クラスの指数》

- 日本株…… TOPIX（東証株価指数、配当込み）
- 先進国株…… MSCI - KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）
- 新興国株…… MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
- 日本国債…… NOMURA - BPI 国債
- 先進国債…… FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
- 新興国債…… JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、P13の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

（2023年1月20日現在）

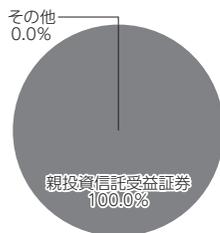
○組入ファンド

銘柄名	第49期末
アライアンス・パースタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド	100.0%
組入銘柄数	1銘柄

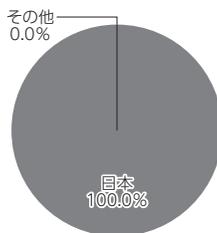
（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

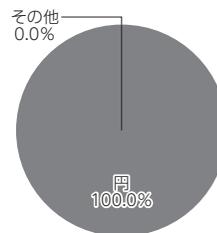
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

（注）国別配分につきましては発行国を表示しております。

純資産等

項目	第49期末
	2023年1月20日
純資産総額	19,064,230,932円
受益権総口数	7,268,367,412口
1万口当たり基準価額	26,229円

（注）期中における追加設定元本額は421,977,963円、同一部解約元本額は1,216,684,967円です。

組入ファンドの概要

アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド

当マザーファンドの当計算期間の運用経過等については、「運用報告書（全体版）」をご覧ください。運用報告書（全体版）の入手方法は、表紙ページの一番下の段に記載しております。

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2021年8月3日～2022年7月20日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株)	15 (15)	0.031 (0.031)
(b) 有価証券取引税 (株式)	13 (13)	0.026 (0.026)
(c) その他費用 (保管費用)	58 (6)	0.117 (0.012)
(その他)	(52)	(0.105)
合計	86	0.174

期中の平均基準価額は、49,055円です。

- (注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書（全体版）をご参照ください。
 (注) 期中の費用（消費税等の課されるものは消費税相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
 (注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。
 (注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

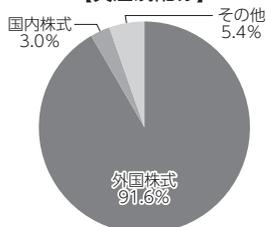
【組入上位10銘柄】

(2022年7月20日現在)

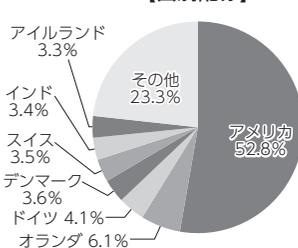
順位	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	WASTE MANAGEMENT INC	商業・専門サービス	米ドル	アメリカ	2.8
2	LUMENTUM HOLDINGS INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	米ドル	アメリカ	2.7
3	DANAHER CORP	医薬品/バイオテクノロジー/ライフサイエンス	米ドル	アメリカ	2.6
4	VESTAS WIND SYSTEMS A/S	資本財	デンマーククローネ	デンマーク	2.5
5	SVB FINANCIAL GROUP	銀行	米ドル	アメリカ	2.4
6	DEERE & CO	資本財	米ドル	アメリカ	2.4
7	APPLE INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	米ドル	アメリカ	2.4
8	NEXTERA ENERGY INC	公益事業	米ドル	アメリカ	2.3
9	FLEX LTD	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	米ドル	シンガポール	2.3
10	STERIS PLC	ヘルスケア機器・サービス	米ドル	アイルランド	2.3
組入銘柄数			57銘柄		

- (注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
 (注) 国（地域）につきましては発行国を表示しております。

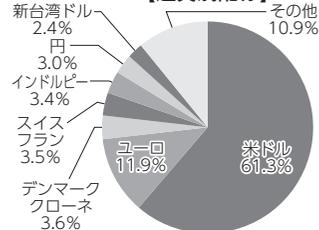
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



- (注) 比率は当マザーファンドの純資産総額に対する割合です。
 (注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

○TOPIX（東証株価指数、配当込み）

TOPIX（東証株価指数、配当込み）は、株式会社 J P X 総研または株式会社 J P X 総研の関連会社が算出し公表する、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研または株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

○MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA – BPI 国債

NOMURA – BPI 国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

○FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。